



2025.3.12

瀬戸ひなご幼稚園園長 神戸洋美

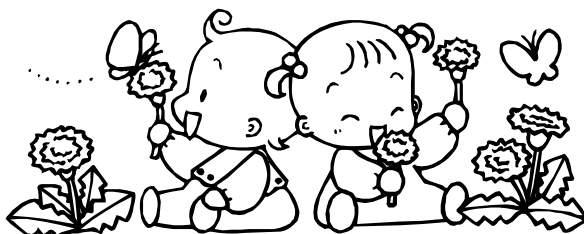
自分の番を生きている

これまで誕生会の園長挨拶で、ずっと命のつながりについてお話ししてきました。長い挨拶は子どもたちが飽きてしまうので、コンパクトにぎゅっとまとめたお話ししかしてきませんでした。その基にある意味をお知らせしようと思います。

地球は今から46億年前、隕石が集まって誕生しました。それからずっと後になって、人類が誕生したのはおよそ500万年前のアフリカだそうです。さらに日本の国に人類が登場したのは約3万8千年前で、私たちのご先祖様です。その時から私たちの命はずっと続いているのです。相田みつおさんの「自分の番 いのちのバトン」という詩をご存じでしょうか。『父と母で二人 父と母の両親で四人 そのまた両親で八人 こうして数えていくと十代前では千二十四人 二十代前ではなんと百万人を超すんです 過去無量のいのちのバトンを受けついで 今ここに自分の番を生きている それがあなたのいのちです それがわたしのいのちです』という詩です。

自分の命は数えきれない人たちの命のバトンをつないで、今、この時代に生きている、それは奇跡としか言いようがありません。この世に生まれたことだけで十分と、前向きに1日1日を大切に生きていくことが大切ではないでしょうか。日本では残念ながら若者の自殺者が増えています。せっかく今まで何万年も続いてきた命が、そこで途切れてしまったとしたら、こんなに悲しいことはありません。

我々のご先祖様は、貧しい時代も戦争で苦しんだ時代も、さらに大きな災害も乗り越えて、現代の私たちに命をつないでくれました。確かに生きていく途中には苦しいこともつらいこともあります。でもその苦難に対して見方を180度変えて、生きていくだけで十分なのだと思うことで乗り越えてほしい、と願うのです。「今、自分の番を生きている」からこそ、命を大切に、と幼児教育の現場でこれからも子どもたちに伝えていきます。



やる気スイッチオン

幼稚園に来ると、私のパワーがチャージされます。何のこと？と思われるかもしれませんが、幼稚園に来て子どもたちの笑顔を見たり、子どもたちとの触れ合いや会話が、私のエネルギーの源になるのです。

私の姿を見つけるととんできて「園長先生、だーいすき！」とハグしてくれたり、運動場で遊んでいると「園長先生がいるー！」と走ってきてくれたり、その子どもたちの笑顔が私の「やる気スイッチ」を押してくれるのです。誕生会の手品も同様です。帰りのバスを待っている時、「今日の手品、すごかったよね。」「おもしろかったー！どうやってやるの？」「来月も楽しみ！」とみんなが話しかけてくれます。子どもたちの純粋な思いや素直な言葉は、本当にその人をやる気にさせる「魔法の力」があるのです。

実はこの1年、子どもたちにいつも「ごめんなさい。」と心の中で手を合わせてきました。私にはもう一つ仕事があるので、幼稚園に常勤することがなかなかできません。もちろん、もしもの場合、私がいなくても理事長や職員みんなでも対応できる体制は整えてあります。でも、その申し訳ないと思う私の心を、子どもたちの笑顔が救ってくれました。

さて、自分に振り返ってみた時、幼稚園の職員や周囲の方々に自分からそんな言葉がけや思いを伝えているのか、私が子どもたちからもらっている『ほめて伸ばす』パワーを、自分から発しているだろうか、と反省しきりです。子どもたちをお手本に、これからも努力していこうと改めて思いました。

最後に・・・

今年1年「めばえ」をお読みいただき誠にありがとうございました。反省を自分に向けながら書いてきました。おつきあいに心より感謝申し上げます。

